

「義務教育学校開校準備委員会」だより

第1号 令和5年5月17日(水)発行 事務局 見崎中学校

令和7年4月の義務教育学校開校まで、残り1年10ヵ月余りとなりました。これから新校舎建設など、忠見小学校、川崎小学校、見崎中学校の三校が一緒になるための準備が進められます。保護者の皆様や地域の皆様には、開校に向けて、「義務教育学校開校準備委員会」(メンバー：忠見小、川崎小、見崎中管理職等)の活動状況等を、これから随時お知らせいたします。

① まず、昨年度7回開催された「見崎校区における新しい学校のあり方検討委員会」(事務局：八女市教育委員会)における調査検討事項の報告内容と要望事項を、以下にまとめていますのでご確認ください。

【報告内容】

- ① 校種 : 義務教育学校
- ② 学校の位置 : 八女市忠見1155番地 (現 見崎中学校)
- ③ 校名 : 八女市立みさき学園
- ④ 校章、校歌 : 現在の見崎中学校の校章、校歌を一部変更し活用する。
- ⑤ 学校の施設、設備
: 既存の見崎中学校の教室等を活用し、必要な教室等については増築する。加えて、過去の実績(上陽北浜、矢部清流の施設・設備)を踏まえ、学校と協議することが望ましい。
- ⑥ 通学の手段及び安全確保
: 八女市立学校再編整備基本構想をもとに、地域・保護者、学校、教育委員会で今後、通学支援の方策等を具体的に検討することが望ましい。
- ⑦ 歴史資料等の保存、行事等の継承
: 三校が持つ歴史資料は地域の資料として確実に保存することが望ましい。また、地域行事への学校の参加や地域学校協働活動等を中心とした学校の教育活動への地域人材の参画等、まちづくり協議会等とも連携して、これまで以上に推進していくことが望ましい。

【要望事項】

- ① クラス替えのできる学校をめざしてもらいたい。
- ② 中学校教員による小学校高学年の教科担任制を実現し学力向上につなげてもらいたい。
- ③ 忠見校区、川崎校区で別々に行われていた伝統行事を一緒に行い、見崎校区の地域づくりにつなげてもらいたい。
- ④ 児童数、生徒数が増えるようなモデルとなるような学校をめざしてもらいたい。
- ⑤ 通学道路の整備など安全に配慮した通学方法を検討してもらいたい。
- ⑥ グラウンドの整備を開校後、早急をお願いしたい。

② 上記の報告内容と要望事項を受けて、現在、以下の取組が行われています。

【学校の施設、設備について】

2月から現在までの間に、計5回の設計打合せを行っています(メンバー：八女市教育委員会学校教育課施設係、設計業者、三校管理職等)。内容としては、新校舎建設、職員室・給食室・図書館・駐車場等の拡張工事を中心に話し合いを重ねています。今後も、子どもたちのよりよい教育環境づくりを行っていきます。

【歴史資料等の保存、行事等の継承について】

三校の保存すべき歴史資料の選定を進めるとともに、総合的な学習の時間等のカリキュラムを編成し直し、忠見校区、川崎校区で別々に行われていた伝統行事等を一緒に行い、見崎校区の地域づくりにつなげていきます。

【英語教育の充実に向けて】

今年度、忠見小・川崎小5、6年生の英語科において、八女市雇用中学校教員による教科担任制を実施しています。また、7月には、八女市教育委員会から紹介を受けて、柳川高校の留学生15名程度(出身国：インドネシア、ベトナム、台湾、韓国他)が、本校2、3年生の英語の授業にゲストティーチャーとして来校する予定です。

以上のような取組の他、現在、三校の教職員は、「特色ある教育課程の作成」「教職員の連携推進」「児童生徒の交流推進」「家庭・地域との連携、協働推進」に取り組んでいます。今後、義務教育学校開校に向けて、さらに「学校を核とした地域づくり」を進めて参ります。